



2021. 6. 4. No1409
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL:<http://www.sogyoren.jf-net.ne.jp/>

1. 静岡県漁協女性部連合会が活動を休止 — 65年続いた活動を休止 —

去る5月27日に静岡市の県水産会館会議室において、静岡県漁業協同組合女性部連合会の第65回通常総会が開催されました。

昭和31年に25会員で県下漁協婦人部の県連組織として発足し、令和2年度までの65年間、貯蓄推進運動、魚食普及活動、環境保全活動、操業安全推進活動などを通じて、本県漁業の振興並びに漁協系統事業の推進に多大なる貢献をしてきましたが、近年は会員数の減少が続ぎ、最大62会員だった会員数が、漁協合併等の影響もありますが、直近では3会員まで減少し、県連組織としての存続が難しくなったことから、令和3年度の通常総会をもって活動を休止することとなりました。

漁協女性部の県連組織としての活動は休止しますが、各漁協女性部への活動支援は県漁連指導部の事業として続けてまいりますので、引き続き漁協女性部員の方々のご活躍を期待致します。

2. 静岡県新調査船の命名・進水式が行われる — 「駿河丸」と命名 —

静岡県が清水区の株三保造船に発注し、建造を進めている新しい沿岸・沖合漁業指導調査船(177ト)の命名・進水式が、5月11日に川勝平太知事ら関係者出席のもと同造船所にて行われました。

新調査船は5代目で、川勝知事により現在の調査船(134ト)と同名の「駿河丸」と命名されました。また、船名の文字は森町出身の書道家杭迫伯樹氏に筆を依頼して、気満にして余裕ある書となっています。

式典では清水三保第一小学校の高橋慶次さんが、船体をつなぎ留めている「支綱(しこう)」と呼ばれるロープを斧で切断し、進水させるメインイベントに臨みました。

今後艀装工事を行い、竣工は2022年1月の予定で、建造から25年が経過した現在の駿河丸は売却される予定です。

新造船の建造費は17.6億円で、現船では水深700メートルまでの海洋観測や採水・資源調査が限界ですが、日本一深い駿河湾をカバーするため、新船は水深2千メートルまでの調査が可能となります。さらにクレーンを二つ備え、災害緊急時の物資運搬能力も向上させました。また、女性専用区画も新たに設け、乗員に配慮した居住性を確保したとのこと。

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

3. セーフティーネット養殖用配合飼料補填発動 — 3四半期ぶりに発動! —

燃油・配合飼料の価格高騰時に備えた「漁業経営セーフティーネット構築事業」において、漁業用燃油で約2年ぶりに補填が発動したのは既報のとおりですが、このたび補填判定結果が発表された養殖用配合飼料においても、令和2年度第4四半期(令和3年1~3月)の平均配合飼料価格が190,758.0円/トとなり、補填金の発動ライン(7中5平均配合飼料価格=185,445.0円/ト)を超過したため、補填単価:5,310円/トで補填が発動されることとなりました。養殖用配合飼料の補填発動は令和2年度第1四半期以来となります。

なお、本年度積立金の第1期納付期限は6月30日となっていますが、新型コロナウイルスの影響が漁業経営を圧迫している状況を考慮し、本年度も最大で令和4年3月31日まで納付を猶予することが可能となっています。

ただし、新規契約者や契約を満了し、積立金返還後に再加入される契約者については、まだ積立金残高が無い場合、納付を猶予した場合は補填が発動しても補填金を受け取ることが出来ませんので注意が必要です。

4. 令和2年度漁業・養殖業生産統計 — 昨年より約2万1,000ト減少 —

農林水産省は、令和2年度の漁業・養殖業生産統計を発表しました。

令和2年度の漁業・養殖業の生産量は、417万5,000トで、前年に比べて約2万1,000ト(0.5%)の減少となりました。

海面漁業の漁獲量は、315万6,500トで、まいわし、ほたてがい等で増加したものの、さば類、さんま等が減少したことから、前年に比べて7万1,700ト(2.2%)の減少となりました。

海面養殖業の収穫量は、96万7,000トで、海藻類、ほたてがいが増加したことから、前年に比べて5万1,800ト(5.7%)の増加となっています。

内水面漁業・養殖業の生産量は、5万940トで、しじみ漁獲、ます類養殖が減少したことから、前年に比べて1,935ト(3.7%)の減少となりました。

これらの統計資料は下記の農林水産省のHPで詳細を閲覧することができます。

<HPアドレス> https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kaimen_gyosei/

5. 本会 人事異動のお知らせ

本会では、次のとおり職員の人事異動を発令しました。

◇退職 5月21日付

▽沼津事業所 高橋 弘樹

本紙は、県内の漁業振興を目的に(公財)静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう